



2024年11月2日

株式会社 GT アソシエーション
FIA-F4 事務局

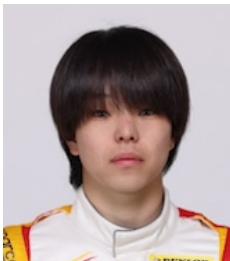
FIA-F4 選手権 第11戦 決勝上位コメント

■ 第11戦 チャンピオンクラス優勝 野村 勇斗【#50 HFDP Racing Team】



「昨日の予選では（3位と）悔しい思いをしたので、“絶対に行くぞ”という気持ちで決勝には挑みました。序盤はレースができるコンディションでしたが、その後どんどん雨量が増えていったのは残念でした。レインのデータ収集も含め、もうちょっとレースがしたかったです。でも優勝できて嬉しいです。まだ修正したいところがありますが、今日はクルマの調子もすごく良いですし、午後（第13戦）ができれば優勝できるよう頑張ります」

■ 第11戦 チャンピオンクラス2位 洞地 遼大【#51 HFDP Racing Team】



「雨のスタンディングスタートは初めてだったのですが、うまく行きませんでした。そこで2台に抜かれてしまい、すごく悔しいです。ペース自体は良くレースが続いていれば挽回のチャンスもあったと思うので、（実質的に）1周しかレースができなかったのは残念です。あと5周くらいあれば、バトルを仕掛けられたかな、と思います。スタートの失敗についてはチームとしっかりとデータ検証して、午後のレース（第13戦）では修正して、次こそ優勝したいと思います」

■ 第11戦 チャンピオンクラス3位 佐野 雄城【#35 TGR-DC RS F4】



「もてぎに入ってからドライでかなり苦戦をしていて、徐々に良くなっていったものの、昨日（練習走行&予選）はまだ足りない状況でした。このレースについては、雨のスタンディングスタートの経験がなく不安はありましたが、うまく決めることができポジションを上げられたのは大きかったと思います。あのコンディションだと前につく（前走車の直後で走る）のは難しいですし、レースがもし2周目以降も続いていたらどうなっていたか分かりませんが、ペース自体も良かったです。午後（第13戦）も雨になると思うので、自信を持って挑んで上位進出を目指します」

■ 第11戦 インディペンデントクラス優勝 DRAGON【#30 B-MAX TEAM DRAGON】



「SC（セーフティカー）スタートだと思っていたので、スタンディングスタートになって驚きました。このコンディションでトップを守らなければならない立場としては、あまり嬉しくなかったです。そんな中、スタートでは前のクルマがストールして詰まって今田選手に抜かれてしまいましたが、2コーナーでのポジショニングが良かったおかげで再び前に出ることができました。リスタートの際もオーバーシュート（無理な走りでもコースアウト）したクルマが目の前にコース復帰して危なかったですが、そこもなんとか守ることができました。このコンディションなので、午後（第13戦）は2番手から慎重にレースをしようと思います」

■ 第11戦 インディペンデントクラス2位 今田 信宏【#44 JMS RACING with B-MAX】



「スタートでトップに浮上できたものの、2コーナーで視界の悪い方にコース取りしてしまったことでブレーキングを早めなければならず、DRAGON選手に抜き返されたのがひとつめのポイント。またSC（セーフティカー）あけは雨量も多くオーバーテイクは難しいと思い、ファステスト狙い（第14戦のスターティンググリッドになる）で前を開けたタイミングでDRAGON選手がミス。近づいたままだったらオーバーテイクできていたと思います。2度のチャンスを活かさずもつたいなかったですが、しょうがないですね。午後（第13戦）は手堅く、ミスのない走りに徹してトップのままチェッカーを受けたいです」

■ 第11戦 インディペンデントクラス3位 植田 正幸【#11 Rn-sports MCS4】



「第5戦以来の表彰台は、嬉しいような恥ずかしいような…そんな気持ちです。（ゴール後に）ペナルティで繰り上がっただけの、ラッキーな3位なので。スタート周回で慎重に行き過ぎて、鳥羽選手に抜かれてしまいました。でも、レインコンディションでのフィーリング自体は、SUGOでは全然ダメでしたが、今回はすごく良かったです。3コーナーで早めにブレーキングした隙をつかれて抜かれてましたが、ペース的には鳥羽選手（3番手ゴール）についていけたと思います。午後のレース（第13戦）も楽しみにしているので、（路面状況が良くなり）ちゃんとレースができるよう願っています」